

小規模事業者 景気動向調査報告書

平成 29 年度第 2 四半期

(平成 29 年 7～9 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通 3 丁目 5 - 1

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	234事業所
2. 回答事業所数	104事業所
3. 回答率	44.4%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	13事業所
卸売業	4事業所
小売業	25事業所
サービス業	52事業所
合計	104事業所

5. 実施時期

平成29年 11月から12月

6. 調査対象期間

平成29年 7月～9月（第2四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（DI値の集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

売上：(増加) - (減少)

採算：(好転) - (悪化)

資金繰り：(好転) - (悪化)

仕入価格：(低下) - (上昇)

雇用：(不足) - (過剰)

設備投資：(拡大) - (縮小)

業況：(好転) - (悪化)

8. 調査方法

調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断は、前年同期比のD I値は▲1.9ポイント。業況が好転したと回答した事業所は25.0%、悪化したと回答した事業所が26.9%、変わらないと回答した事業所は48.1%だった。

7～9月は、卸売・小売業では人件費の高騰、仕入価格の上昇等により業況は悪化。建設業では営業活動の強化による工事数の増加などにより業況が改善。

来期見通し(10～12月)については、小売業では仕入価格や輸送費の上昇、個人消費の冷え込みなどにより業況は悪化の見通し。製造・建設・卸売・サービス業では新たな販路の開拓や取引先の受注状況の好転、年末年始の消費拡大などへの期待などにより業況は改善の見通し

	H29.7～9	H29.10～12 見通し
全業種	▲ 1.9	13.5
製造業	0.0	11.1
建設業	21.4	28.6
卸売業	▲ 25.0	25.0
小売業	▲ 16.0	▲ 36.0
サービス業	0.0	32.7

2. 業種別の概要

① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33. 3%、悪化したと回答した事業所が33. 3%、変わらないと回答した事業所が33. 4%だった。

製造業からは「新商品の開発を進めているが、まだ需要がない」（調味料製造業）のほか、「取引先からの受注は増えている」（機械部品製造業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しD I 値は11. 1ポイントで、好転する見通しとなっている。

② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が21. 4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は42. 9%、悪化したと回答した事業所は21. 4%、変わらないと回答した事業所は35. 7%だった。

建設業からは、「昨年入社した者が仕事に慣れ、仕事量をこなせるようになってきた」（配管業）、「通常の工事に加え、まとまった規模の工事受注などがあり好転している。」（水道設備工事業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しのD I 値は、28. 6ポイントで、好転する見通しとなっている。

③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲25. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25. 0%、悪化したと回答した事業所が50. 0%、変わらないと回答した事業所は25. 0%だった。

卸売業からは、「取引先の手数料が大きくなったうえ、生産者の高齢化により花の数量が減少しており高値になっている。また人件費も上がっており厳しい現状」（花卸売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、25. 0ポイントで、改善する見通しとなっている。

④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲16. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は24. 0%、悪化したと回答した事業所は40. 0%、変わらないと回答した事業所は36. 0%だった。

小売業からは、「今年は猛暑だったので天候に助けられ季節製品がよく売れた」（電気機械器具小売業）や、「需要の停滞、消費者が大型店へ流れている」（雑貨小売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲36. 0ポイントで、悪化する見通しとなっている。

⑤ サービス業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は19. 2%、悪化したと回答した事業所は19. 2%、変わらないと回答した事業所は61. 6%だった。

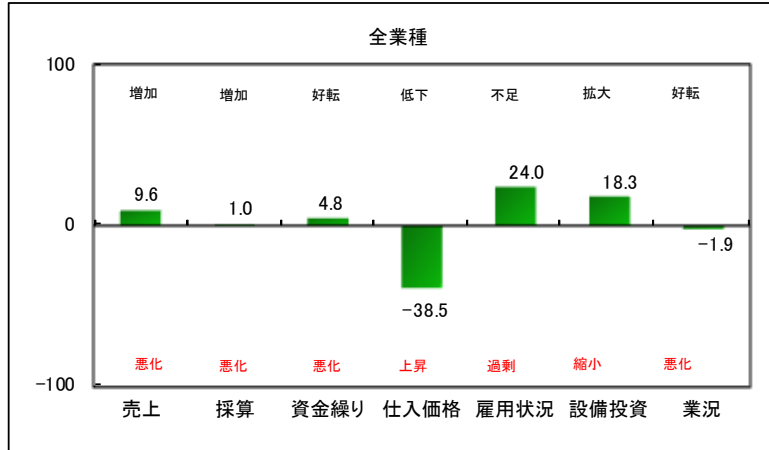
サービス業からは、「全国バス料金が決定され近距離などは満足な料金が取れず距離・時間・計算で厳しい点もある」（道路旅客運送業）、「アルバイトスタッフが増え、集客することができたため」（飲食業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しD I 値は、32. 7ポイントで、改善する見通しとなっている。

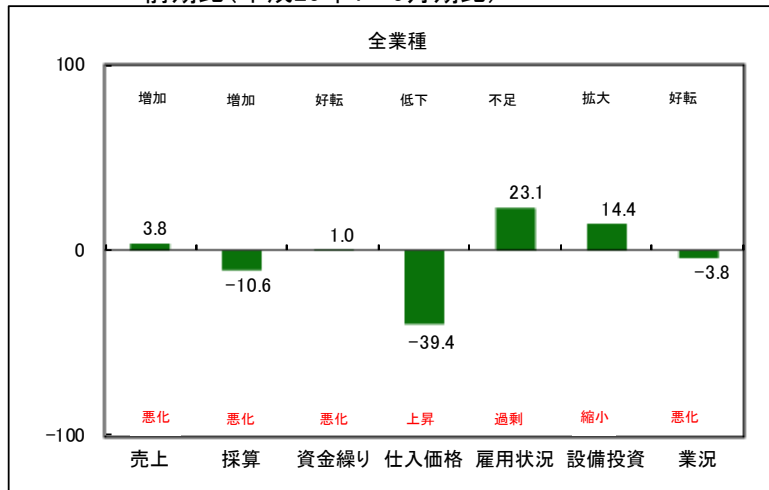
市内景気動向

全業種

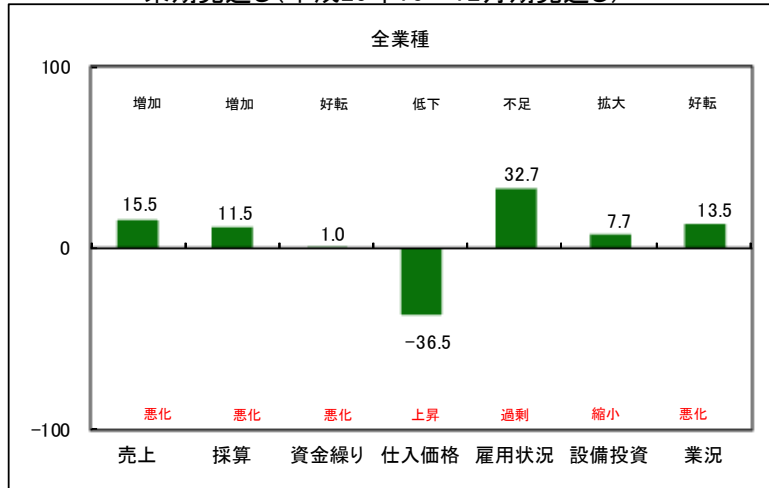
前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



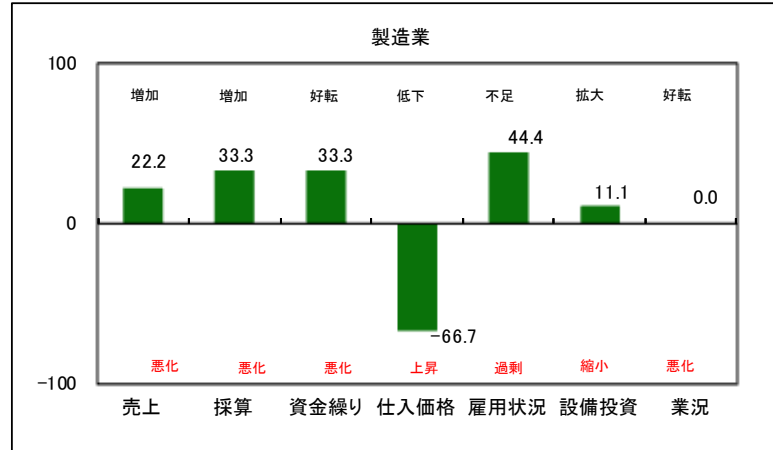
来期見通し(平成29年10～12月期見通し)



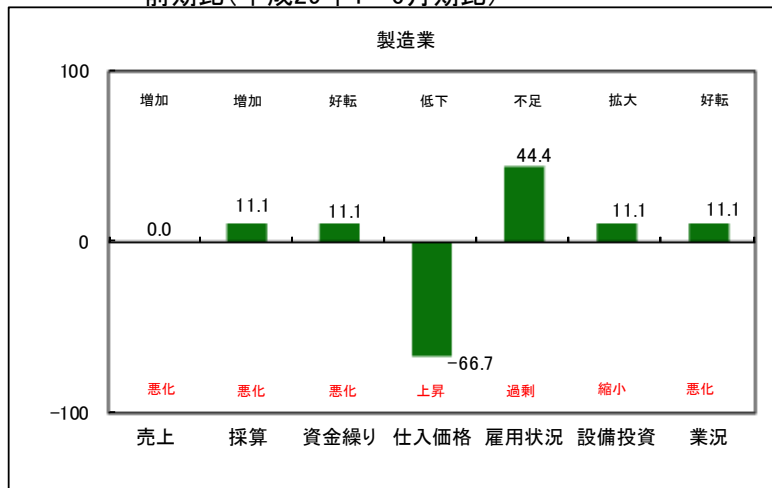
業種別景気動向

製造業

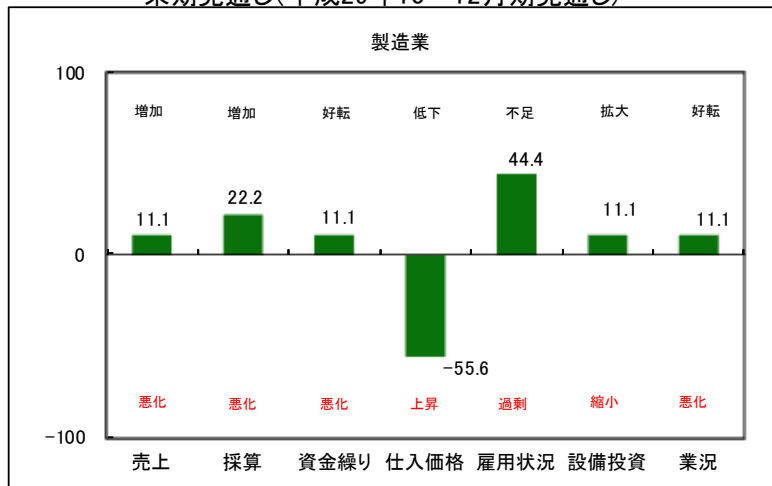
前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



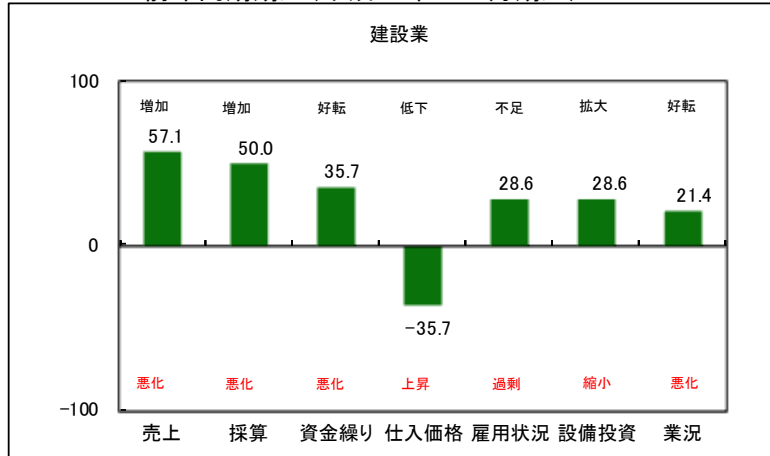
来期見通し(平成29年10～12月期見通し)



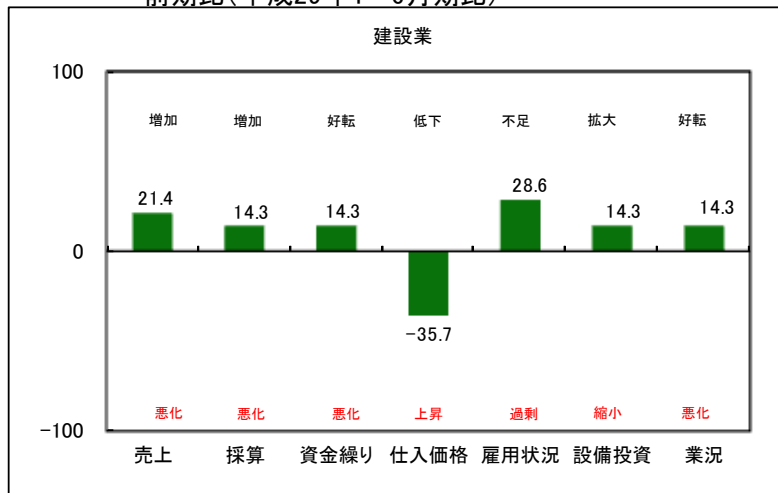
業種別景気動向

建設業

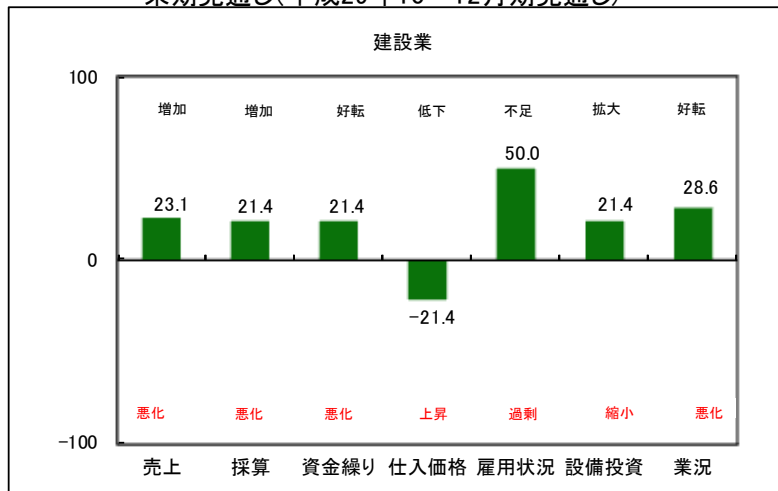
前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



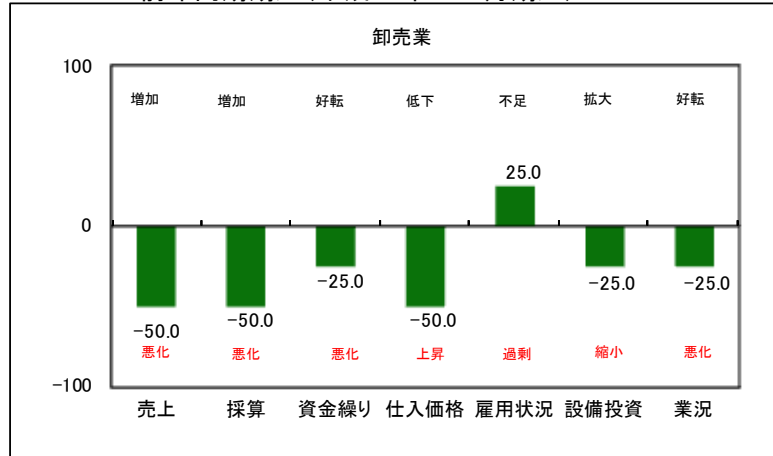
来期見通し(平成29年10～12月期見通し)



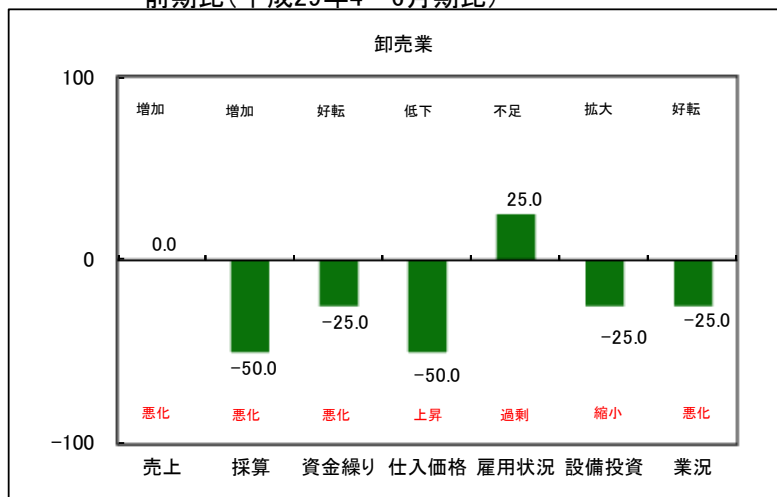
業種別景気動向

卸売業

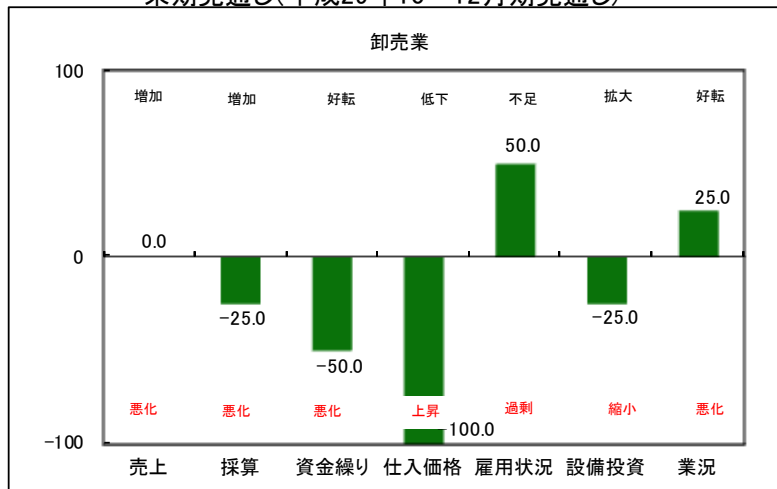
前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



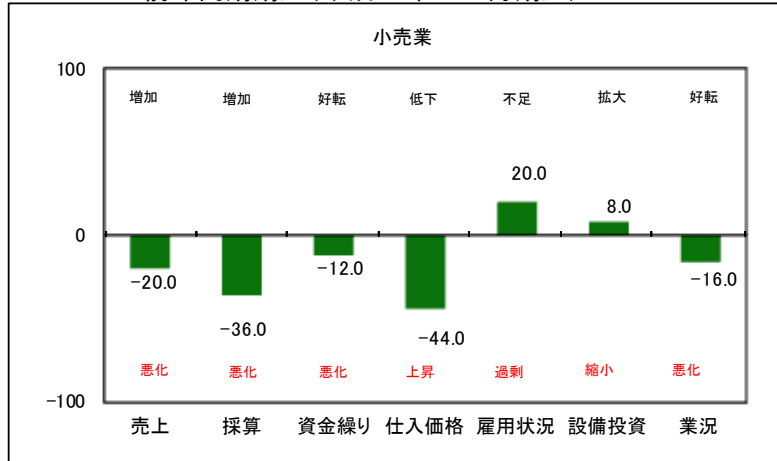
来期見通し(平成29年10～12月期見通し)



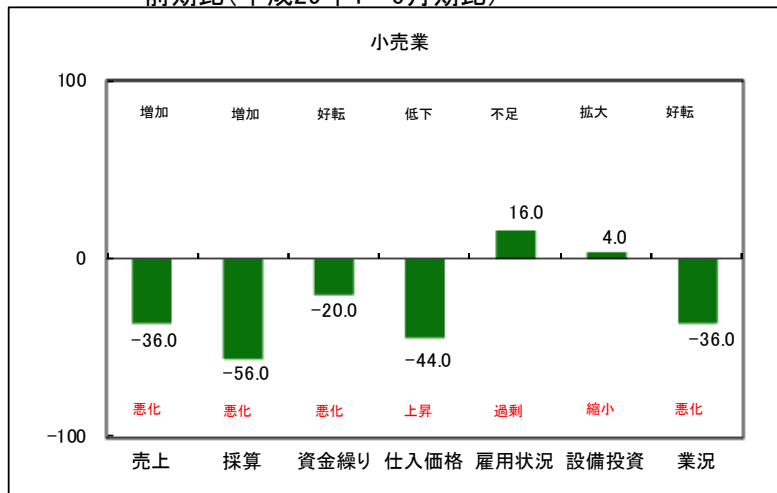
業種別景気動向

小売業

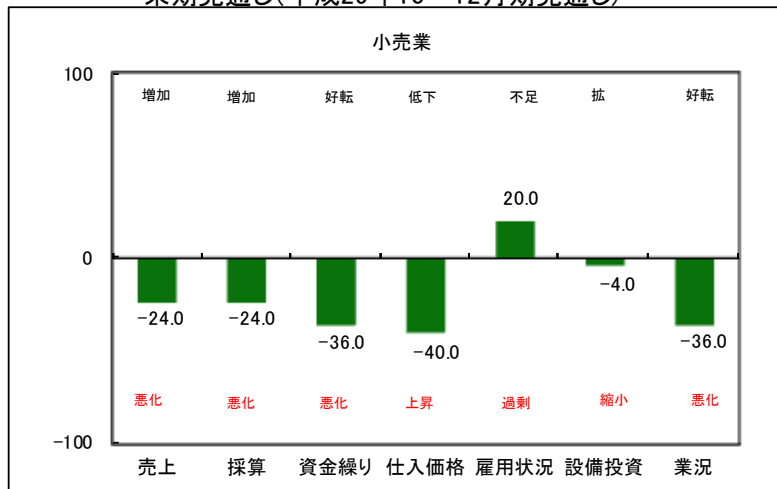
前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



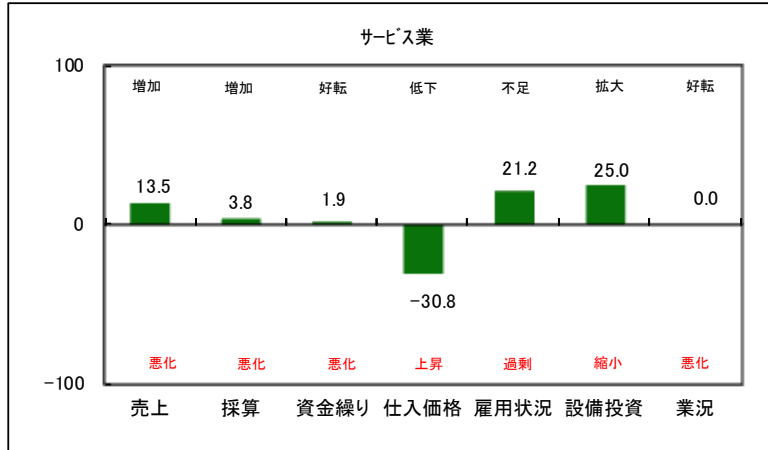
来期見通し(平成29年10～12月期見通し)



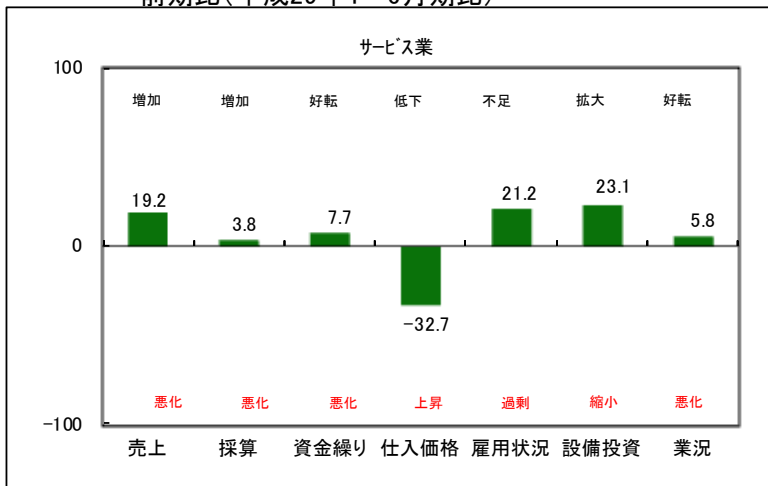
業種別景気動向

サービス業

前年同期期比(平成28年7～9月期比)



前期比(平成29年4～6月期比)



来期見通し(平成29年10～12月期見通し)

